



「グローバル企業としての持続的な成長」

取締役常務執行役員
柳本 勝

当社は今年創業90周年の節目の年を迎えます。これもひとえに皆様方のご支援ご鞭撻の賜物であり、改めて厚く御礼申し上げます。これからも、「技術の山陽」を築き上げた先人の努力に敬意を払いつつ、100周年に向けた次の10年を新たな成長のステージにするべく、変革努力を続けて参ります。

この数年は、新型コロナウイルスの蔓延によりライフスタイルや働き方が大きく変化し、同時に企業としての持続可能性や社会的責任の重要性が浮き彫りになりました。渡航禁止を含む多くの制限が緩和された現在でもコロナ禍が世界に与えた影響は大きく、感染拡大前と同じ状況に戻ることは難しいと思われま

しかし、企業は新たな状況に柔軟に適応し、成長をはかる必要があります。そして、カーボンニュートラルやグリーンエクステンションといった地球環境問題への備え、デジタルトランスフォーメーションによる業務プロセスや顧客エクスペリエンスの向上など、「世界規模での変革要求」へのより強い取り組みが求められています。

当社においては、独自の高潔度製造技術やお客様と連携した商品開発といった特徴を活かしつつ、親会社である日本製鉄や欧州子会社のOvako社との連携とも併せて、「世界規模での変革要求」に対応したグローバル企業としての進化を目指しています。

鉄鋼業の一員として重要課題のひとつであるカーボンニュートラルについても、2030年度(2013年度比)50%削減、2050年度実現に向けた努力を着実に重ねてきました。また、「最終製品として使用される段階でCO₂排出削減に貢献する、もしくは、お客様のエコプロセスに貢献する」エコプロダクトの創出も重要施策の一つとして注力しています。

エコプロダクトの効果的な実現には、グループ連携による世界規模での市場調査や開拓、営業・技術・生産の社内連携による迅速な情報収集・商品化力が必要ですが、そのためには「お客様の要求を真摯に聞いて着実に実現できる実力」が何よりも大切であると考えます。それを支えるのは人材、技術力に他なりません。

企業規模や活動範囲のグローバル化に伴って、対処すべき対象や課題が高度化しています。当社は、ますます厳しくなるであろう社会からの要求や課題に対応できる更なる実力を身につけるべく、DXなどのデジタル技術を活用したものづくりのスキルアップや技術深化を行い、グローバル企業として持続的な成長をはかって参ります。

90年間にわたる歴史の中で築かれたお客様との絆や信頼への感謝と誇りを胸に、さらなる発展を目指します。今後とも、皆様方の一層のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。